

高橋ゆうすけ議員の本会議質問 (11月28日)

就学援助の入学準備金

「小学1年生での入学前支給を検討」(教育長)



中学1年生では実現 小学1年生でも

就学援助の入学準備金は、中学1年生については、来年度入学生から入学前の2月に支給時期が前倒しされます。11月28日の名古屋市議会では、高橋ゆうすけ議員(日本共産党)とうえぞの晋介議員(民進党)が、「小学校でも早急に入学準備金の前倒し支給を実施すべき」と求めました。

「課題はあるが入学前に支給できるよう検討」(教育長)

就学援助は経済的理由によって就学困難な生徒の保護者への援助制度です。高橋議員は「本市の就学援助を受ける生徒は、小学生が12.8%、中学生が16.3%。保護者の方から『出費がかさむ入学前にお金を立て替えるのは本当にたいへん』と声が上がっている」と紹介。小学生に対しても入学前支給している他の政令市を上げ、「名古屋でも実施を」と求めました。杉崎正美教育長は「未就学段階での受付体制など課題があるが、入学前に支給できるよう検討する」と答弁。高橋議員は、「受付体制については、入学届を提出した小

学校に就学援助の申請書を持参することなどで解決できる」と指摘しました。

小学1年生への入学準備金前倒し支給 政令指定都市比較

既に前倒し…福岡市 北九州市 熊本市
来年度から前倒し…京都市 神戸市
前倒しに向け検討中…広島市 横浜市

名古屋市の就学援助の入学準備金(2018年)

小学校入学時：入学後に40,600円
中学校入学時：入学前に47,400円

中学1年生の入学前支給実現の経緯

名古屋市では小中学ともに入学後支給でしたが、2016年11月市議会で日本共産党の岡田ゆき子議員が入学前支給を提案。2017年の2月議会では、日本共産党田口一登団長の代表質問に、教育長が「入学準備金の事前支給の検討を行うにあたっては、他都市の動向等を注視しつつ、引き続き課題を整理する必要がある」と答弁しました。2018年度からは中学生については入学前に支給されることになりました

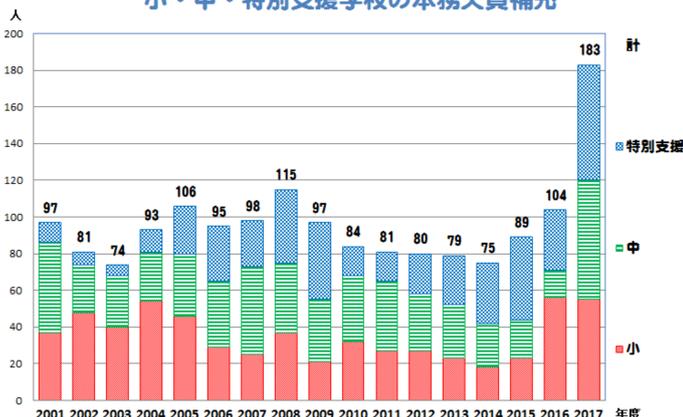
毎年100人正規教員が不足

長期間勤務の臨時教員を正規採用し解決を

高橋議員は市内で毎年100人前後の正規教員が不足し、臨時教員が対応している実情にふれ、「長期間勤務している臨時教員を今すぐ正規採用すれば解消できる」と提

案。教育長は「欠員数はできるだけ減らしたい」と答えました。

小・中・特別支援学校の本務欠員補充



臨時教員の同一校での継続任用を

「対応について研究していきたい」(教育長)

名古屋市では、臨時教員の同一校での任用期間は原則1年、産休・育休の場合学校が認めれば3年まで認められています。高橋議員は「同一校での継続任用不可なのは千葉県と名古屋市だけ。教育的立場に立って、産育休以外でも継続任用を認めるべきだ」と求めました。杉崎教育長は「要望が有ることは承知している。今後対応について研究していきたい」と答えました。